

気候変動に負けない米づくりへ！

～令和7年度千葉地域水稲栽培講習会～

千葉農業事務所改良普及課 令和8年2月13日発

近年、水稲栽培では気候変動による高温障害やカメムシ等の病害虫の発生が増加し、安定した収量及び品質を確保するための対策が求められています。そこで農業事務所では、水稲農家を対象にこれら対策について理解を深めることを目的として、1月9日に水稲栽培講習会を開催しました。多くの農家に参加できるよう、千葉市、市原市、八千代市にWeb配信の会場を設けたところ、66名の参加がありました。事務所からは、昨年の水稲作の振返りと今作の栽培ポイント、カメムシ防除及び高温対策に関する試験結果を情報提供しました。その後、各市JA職員から米の出荷状況、高温対策資材や防除資材について情報提供してもらいました。参加者からは「品質を高めていくために参考になった」、「今後も情報提供してほしい」といった感想が聞かれました。今後も農業事務所では、水稲農家の栽培技術向上を支援していきます。



栽培講習会の様子



JA職員からの情報提供